

第77回例会

自己との対話に向き合う私と他者の存在

—つながりの中で生かされる「私」に気づくとき—

■ 話題提供 ■

高久孝幸さん（帝京平成大学附属日本語学校）

長島美稚子さん（北陸内観研修所）

■ 日時 ■

2021年10月23日（土） 10:00～12:00

オンライン開催（Zoom） 定員：20名

※参加費無料、要事前申込

※非会員の方もご参加になれます。

※定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。

お申込みはこちらから→ <https://tinyurl.com/yzr5e2tj>



人と人とのふれあい機能が低下している今、関係性構築の場をデザインする教育が強く求められています。これは、どこの教育機関においても喫緊の課題となっているはずです。しかし、何をどうすればクラスに、円滑な関係性が保たれ、意識的につながりが創られるのか、などの課題に直面している先生方は多いのではないのでしょうか。

本例会は、二部構成で行います。

第1部では、私（高久）が実施した関係性構築の場創りを紹介したうえで、教室内で行った「内観」という自己の内側を観察し、他者（家族、先生、クラスメイト、学校の職員など）との関係性や出来事を探るという手法を取り入れた実践を紹介します。

第2部では、まず、北陸内観研修所の所長である長島さんが「内観とは何か」をお話します。次に、「内観」体験ワークを行い、参加者全員に「内観」を体験していただきます。具体的には、「内観」を行う上で大切なキーワードである「お世話になったこと」、「して返したこと」を手掛かりに、「今ここ」という自分の時間軸に集中し、自己と向き合い、他者との関係性やつながりを感じ取りながら、過去から現在までの自分を振り返っていただきます。最後に、体験ワークを踏まえ、過去から現在にいたる「つながりと「私」の関係」をテーマに議論を深めます。

この会が皆さまの明日の実践のヒントになればと切に願っております。

お問い合わせ：言語文化教育研究学会企画委員会 Email: project@alce.jp

